

# 米国優先リートファンド (為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／その他資産 (優先証券)

日経新聞掲載名：米優先リー無

2022年1月27日から2022年3月30日まで

第14期 償還日：2022年3月30日



## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として、米国のリート(不動産投資信託または不動産投資法人)が発行する優先証券等に投資し、配当収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。ここに当期の運用状況等をご報告いたします。

皆さまのご愛顧ありがとうございました。



〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 当期の状況

償還価額(償還日)	7,759円97銭
純資産総額(償還日)	1,072百万円
騰落率(当期)	-4.2%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

### ■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

### ■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

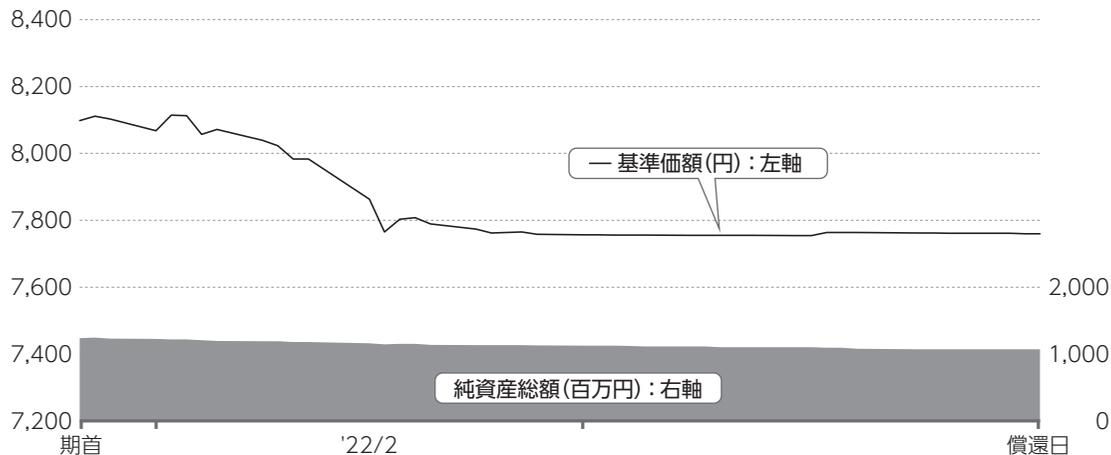
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

## 1 運用経過

基準価額等の推移について（2022年1月27日から2022年3月30日まで）

### 基準価額等の推移



期 首 8,098円

償 還 日 7,759円97銭

騰 落 率 -4.2%

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因（2022年1月27日から2022年3月30日まで）

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として、米国のリート（不動産投資信託または不動産投資法人）が発行する優先証券（優先リート）等に投資し、配当収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

#### 上昇要因

- 為替市場において米ドル高・円安が進んだこと

#### 下落要因

- インフレ加速や金融引き締めに対する懸念、ウクライナ情勢の緊迫化を背景に米国優先リート市場が下落したこと

1万口当たりの費用明細（2022年1月27日から2022年3月30日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	13円	0.171%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) <b>期中の平均基準価額は7,844円です。</b>
（投信会社）	(4)	(0.051)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(9)	(0.114)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(0)	(0.006)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(d) その他費用	0	0.000	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(-)	(-)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(-)	(-)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	13	0.171	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

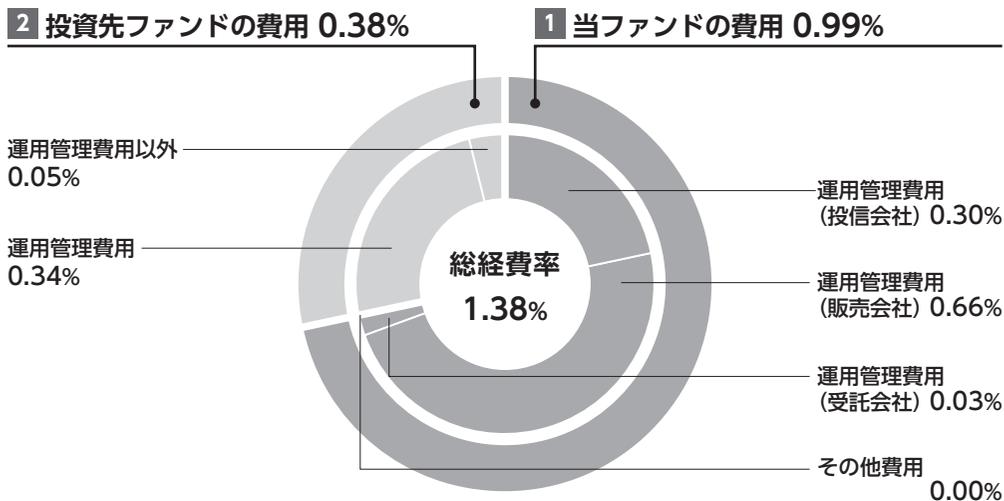
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1+2)	1.38%
1 当ファンドの費用の比率	0.99%
投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.34%
2 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

※1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※2の各費用は、投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の「1万口当たりの費用明細」をもとに、投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.38%です。

最近5年間の基準価額等の推移について（2017年1月26日から2022年3月30日まで）

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2017年1月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2017.1.26 決算日	2018.1.26 決算日	2019.1.28 決算日	2020.1.27 決算日	2021.1.26 決算日	2022.1.26 決算日	2022.3.30 償還日
基準価額 (円)	8,990	8,764	8,094	8,583	7,470	8,098	7,759.97
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	360	340	345	295	330	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	1.4	-3.9	10.4	-9.4	12.9	-4.2
純資産総額 (百万円)	7,474	4,084	2,489	1,941	1,435	1,238	1,072

※2021年9月21日のシステム統合により、小数点以下の端数処理等、計算ロジックの一部が変更となっています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 投資環境について（2022年1月27日から2022年3月30日まで）

期間における米国優先リート市場は下落しました。為替市場では米ドルに対して円安となりました。

### 米国優先リート市場

期初から、F R B（米連邦準備制度理事会）による金融引き締めへの懸念や米国経済指標を背景とするインフレ長期化への警戒感を受けて上値の重い展開となりました。2月中旬以降は、ロシア、ウクライナ情勢の悪化を受けて、投資家のリスクセンチメント（市場心理）が悪化したことなどを背景に軟調な推移となりました。

### 為替市場

期末の米ドル・円は、期初と比較して円安となりました。日米の金融政策の方向性の違いや日本の貿易赤字拡大などが意識され、米ドル高・円安が進行しました。

## ポートフォリオについて（2022年1月27日から2022年3月30日まで）

### 当ファンド

期初より「フィデリティ・米国優先リートファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」を高位に組み入れましたが、繰上償還決定後は、現金比率を高めた運用を行いました。

### フィデリティ・米国優先リートファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

「フィデリティ・米国優先リートマザー

ファンド」を主要投資対象としました。実質組入外貨建資産については為替ヘッジを行っていません。

### （フィデリティ・米国優先リートマザーファンド）

#### ●組入銘柄数

85銘柄に投資していましたが、繰上償還決定後は組入銘柄の流動化を行いました。

#### ●用途別構成比率

ポートフォリオは、複合施設や小売を相対

的に大きな資産配分、ヘルスケアやインフラストラクチャーを相対的に小さな資産配分としていましたが、繰上償還決定後は流動化を行いました。

### ●通貨別配分

組み入れていた証券は米ドル建ての証券のみです。

## マネープール・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

### ベンチマークとの差異について（2022年1月27日から2022年3月30日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

### 分配金について（2022年1月27日から2022年3月30日まで）

償還のため、該当事項はございません。

## 2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

## 3 お知らせ

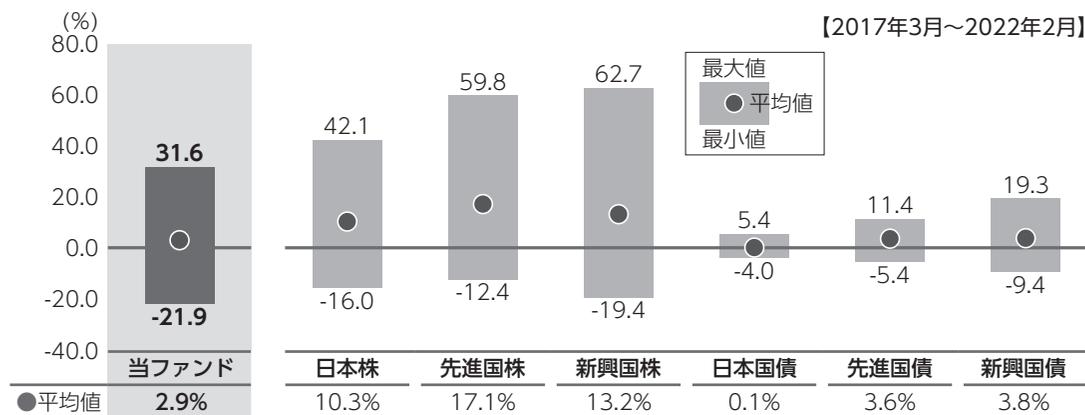
### 約款変更について

該当事項はございません。

## 4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（優先証券）
信託期間	2015年7月22日から2022年3月30日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として、米国のリート（不動産投資信託または不動産投資法人）が発行する優先証券等に投資し、配当収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 <b>フィデリティ・米国優先リートファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）</b> フィデリティ・米国優先リートマザーファンド <b>マネープール・マザーファンド</b> 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主として、米国のリート（不動産投資信託または不動産投資法人）が発行する優先証券に実質的に投資し、配当収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。</li> <li>■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>■外貨建資産への直接投資は行いません。</li> </ul>
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■年2回（原則として毎年1月および7月の26日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。</li> <li>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。</li> <li>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</li> </ul> ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## 5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(配当込み) 株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイインデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村證券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## 6 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容(2022年3月30日)

有価証券等の組入れはありません。

### 純資産等

項目		第14期末 2022年3月30日	※当期における、追加設定元本額は6,768,014円、解約元本額は153,669,987円です。
純資産総額	(円)	1,072,648,949	
受益権総口数	(口)	1,382,284,238	
1万口当たり基準価額	(円)	7,759.97	

## 7 償還を迎えて

当ファンドは、2022年3月30日に償還となりました。

皆さまのこれまでのご愛顧に御礼申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドをお引立て賜りますよう、お願い申し上げます。